

～千年経っても変わらない風景を残す！～

# 『里山千年基本計画』



平成27年8月

美濃加茂市

# も く じ

里山千年計画の構成

計画期間

計画の位置づけ

実施体制・組織

基本計画全体位置図

整備計画

整備計画予定

アクションプラン

基本計画実施プログラム

●里山整備

●森のさんぽ道

●里山資源

●こども

●やぎさん

●里山のくだもの

●里山体験活動拠点

## 里山千年計画の構成

里山千年計画は、「里山千年構想」、「里山千年基本計画」、「里山実施計画」の3つから成り立っています。

### 【里山千年構想】

荒廃してきた里山を整備し維持管理を持続させる方法、及び整備により再生された里山を活用する方法を検証していくことを提案しています。

### 【里山千年基本計画】

「里山千年構想」を実現するため、今後10年間に重点的に進めていくべき具体的内容を「里山千年基本計画」として決めました。

また、社会経済環境等の変化に対応するため、計画期間は前期・後期とそれぞれ各5年とし見直しを行います。

### 【里山実施計画】

「里山千年基本計画」に掲げるプログラムを実現するための事業を、毎年度の予算編成の事務事業計画書で明らかにします。

## 計画期間

本計画は平成27年度からの10年間とします。

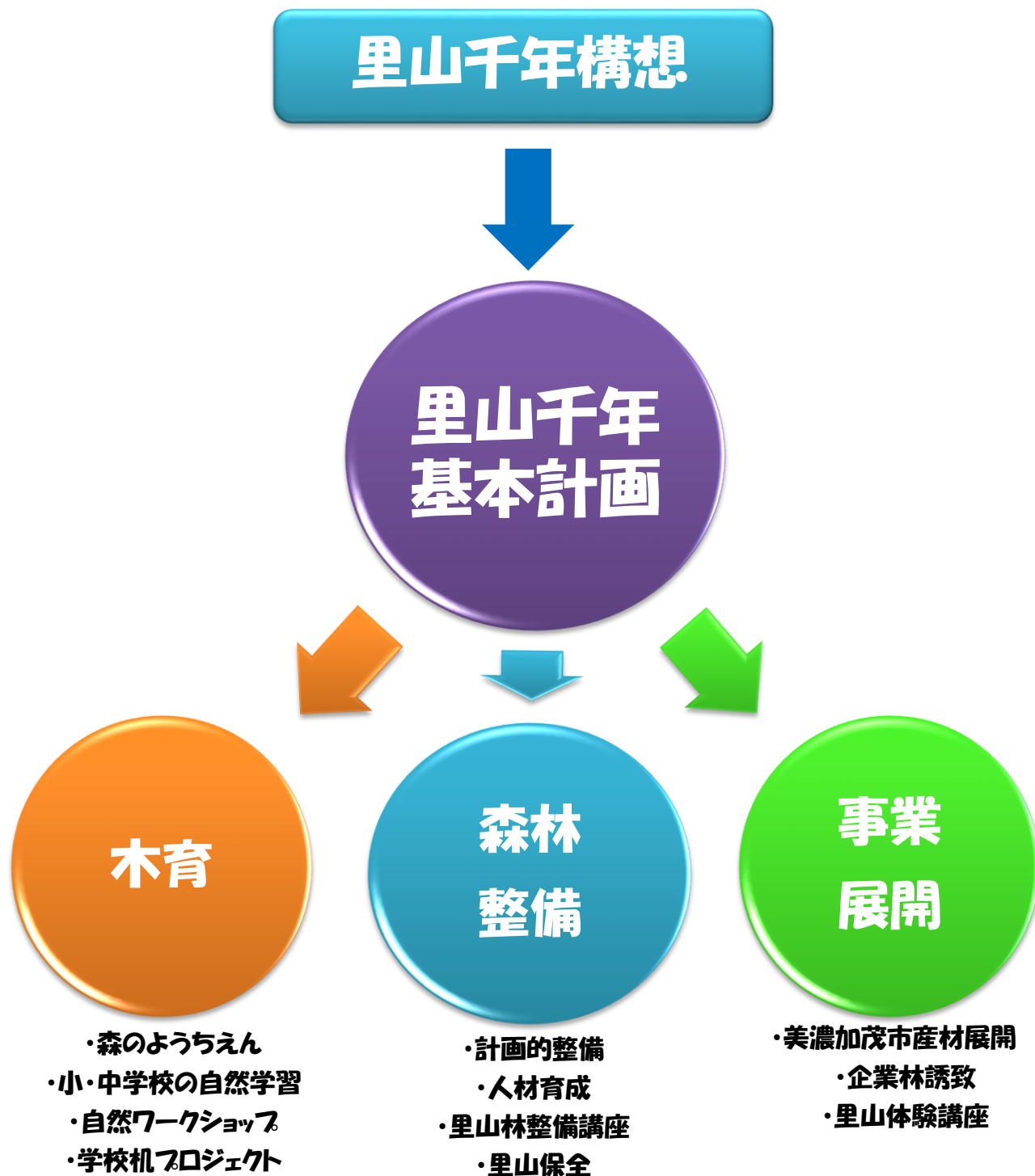
また、社会経済環境及び森林環境の変化や市森林整備計画等関係する施策に合わせて計画を見直し、里山再生活動を継続して行います。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32~H36
現計画	→					
次期計画					見直し →	



## 計画の位置づけ

本計画の位置づけとしては、「里山千年構想」を美濃加茂市内の里山の整備及び維持管理や利活用方法の基幹と位置づけ、地域ごとに特徴のある里山環境整備や事業展開していくために、具体的な考えや実施事業の計画を定めるものです。



## 実施体制・組織

### ■地域全体で守り続けていく里山

本計画を達成するためには、里山の利活用を進めていく中で、美濃加茂市内一円の山林及び山林化した農地を計画的に整備し、千年先までも守り続けるためには、行政だけではなく、森林組合や地域住民等の協働が不可欠です。

そこで、山林所有者だけでなく、地域住民、里山整備ボランティア団体、森林組合、学校、企業及び行政が協働して整備、植樹をする機会を設け、自分たちの手で里山を作り上げ地域の手で再生するという意識の向上を働きかけます。持続可能な里山とするには、地域全体で守り続けていく仕組み作りが必要となります。

所有者が個々で管理するだけでなく、『わが町の里山』として地域住民や学校、企業等が整備された里山を守り続けていくことで『千年先まで続く美濃加茂市の里山』となることをめざす姿とします。



基本計画全体位置図



里山  
千年構想

一さとやま せんねん こうそう





## ①北部未利用地

### ～みのかも健康の森

#### 【里山整備】

\* 北部未利用地～基幹農道

H27年度からH31年度

\* 基幹農道～健康の森

H32年度からH36年度

#### 【維持管理体制】

里山整備講座の開催

人材育成

地域住民との連携

#### 【健康の森を里山体験拠点に】

\* 里山体験活動拠点

・薪ストーブ設置

・薪割り体験・しいたけ菌うち体験

・炭焼き体験・木工教室

\* 森のさんぽ道

・健康の森を起点に遊歩道整備

#### 【企業の森誘致】

\* 楽天の森

#### 【未利用地の活用継続】

\* 里山を学びの場へ

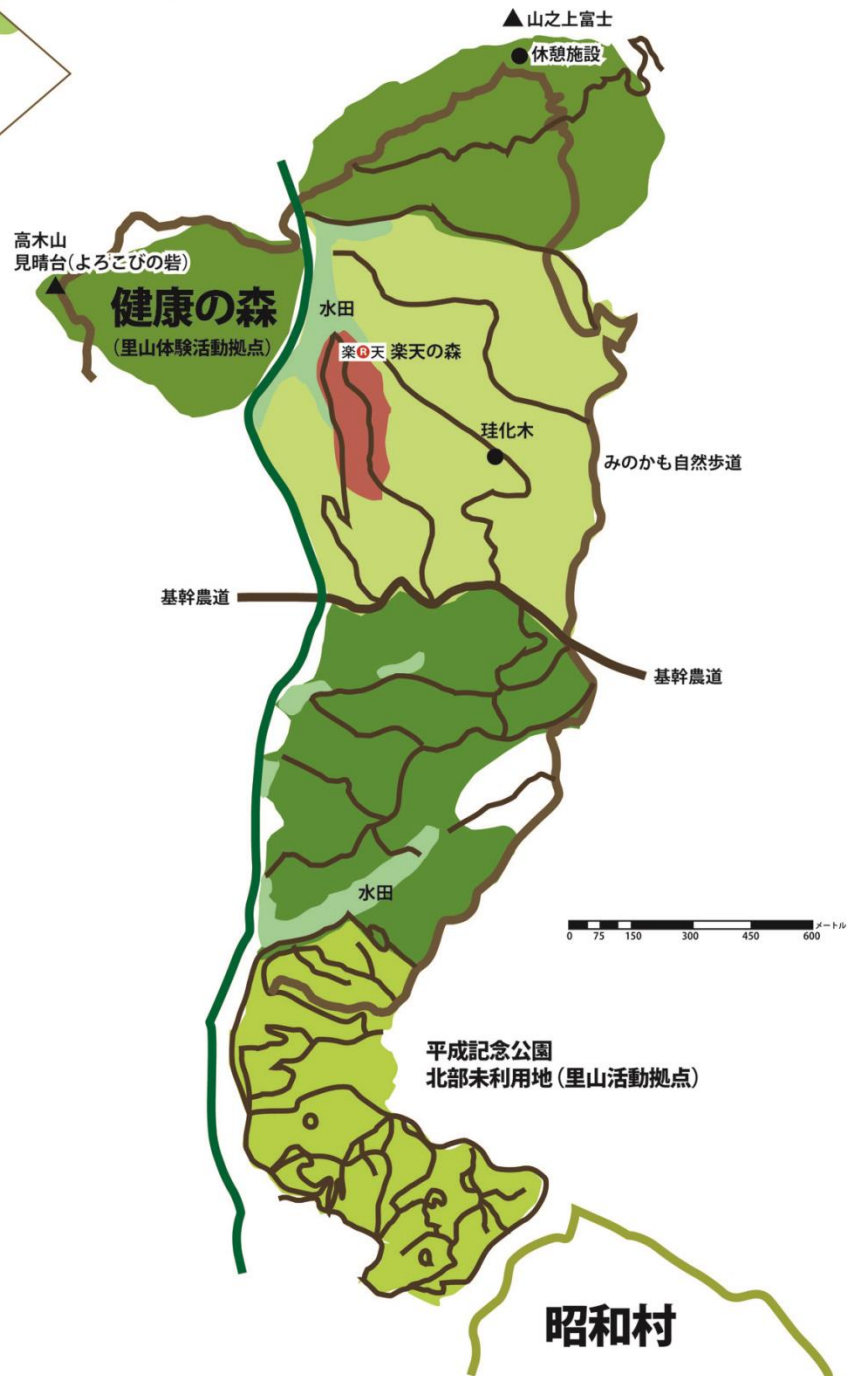
(森のようちえん、自然学習)

\* 里山を資源研究の場へ

(近隣の学校との連携)

\* 里山を散策の場へ

(森のさんぽ道)



## ②蜂屋町上蜂屋（覚埜地区）

### 【里山整備】

- \* 中覚埜地区を先駆的に整備 H27年度から整備予定（森林・環境税 を活用）  
その後、下覚埜地区へと整備を予定している。

### 【維持管理】

- \* 地域住民との連携を推進

## ③山之上富士～三和町

### 【里山整備】

- \* 山之上富士山山頂に休憩施設を建設
- \* 山之上富士下作業道から三和町へ繋がる「森のさんぽ道」を整備予定  
（森林・環境税 市町村提案事業を活用予定）

### 【維持管理】

- \* 地域住民との連携及び「森のさんぽ道」活用の検討を推進

## ④伊深町大洞地区

### 【里山整備】

- \* 鳥獣被害防止対策(ネット柵設置)と併せて里山の整備を行う。  
（森林・環境税 を活用予定）

### 【維持管理】

- \* 地域住民との連携及びネット柵設置・管理を推進

## ⑤下米田町則光 さくらの森付近

### 【里山整備】

- \* さくらの森の維持管理に併せて近隣の里山整備を行う。  
（森林・環境税 を活用予定）

### 【維持管理】

- \* 則光生産森林組合及び地域住民との連携を推進



## HOP

### 里山の整備

- ◇エリア内の整備区域及び整備内容の決定
- ◇整備計画説明会
- ◇里山の植生調査
  - ・現地確認
  - ・処理方法決定
- ◇里山林の整備
  - ・竹の除去
  - ・不用木や危険木伐採
  - ・伐木搬出、粉碎
- ◇遊歩道の整備
- ◇広葉樹の植林
- ◇里山整備人材育成
  - ・里山整備講座



## STEP

### 里山の活用

- ◇里山資源活用
  - ・里山資源発掘
  - ・学校との連携
  - ・資源量調査
  - ・里山ビジネス研究会

#### 資源活用

- ◇里山遊歩道（森のさんぽ道）
- ◇モデル里山の活用
  - ・こどもの遊び場
  - ・やぎさん活用
  - ・学校野外実習
  - ・里山のくだもの
- ◇里山交流拠点（健康の森活用）
- ◇まちづくり協議会との連携活動

#### 整備後活用

## JUMP

### 里山事業促進

- ◇美濃加茂市産材（竹アベマキ）の活用
  - ・学校机プロジェクト
  - ・特産品開発、販売
- ◇「山の幸」市場
- ◇企業林誘致
  - ・「Mの森」計画
  - ・協賛金

#### 資源活用

- ◇里山体験活動拠点での里山体験講座の開催
  - ・薪割り、薪ストーブ
  - ・しいたけ菌うち体験
  - ・木工教室
  - ・都市圏住民対象体験
- ◇里山整備講座
- ◇里山整備ボランティア団体
- ◇森のようちえん
- ◇小中学校の自然学習PR
  - ・野外授業
  - ・遠足利用

#### 整備後活用

## 基本計画実施プログラム

本計画に基づく政策を実現するため、前期の5年間で実施する事項の具体的な取り組みを示しています。

整備後の里山林を維持管理の一環として利活用するため、「里山千年構想」を基に以下の実施プログラムを行います。

実施プログラムは永続的に続くものですが、後期については、前期の取り組みの実績を踏まえながら見直しを行い、適切な対応が実施できるよう中期の成果目標や中期計画を策定し、モデル地域や市内の里山林での実行に向け目標を定めます。

- **里山整備**  
持続可能な里山整備の仕組み
- **森のさんぽ道**  
四季を五感で感じる里山
- **里山資源**  
里山産資源の有効活用
- **こども**  
こども達の笑顔があふれる里山
- **やぎさん**  
やぎさんのいる里山
- **フルーツの森**  
フルーツが実る里山の風景
- **里山体験活動拠点**  
里山を丸ごと楽しむ交流拠点



### 持続可能な里山整備の仕組み



荒廃した里山林は、野生動物の住处となり、農作物被害の増加に繋がっています。

人が入らず放置された里山の林道周辺では不法投棄が増加し、その周辺の里川や農地の水環境への影響が危惧されています。

このような課題を解決するためにも、荒廃した里山林を、もう一度昔のような風景にするために整備する必要があります、今後は計画的に里山整備を行います。

また、多くの人々が里山に関わりをもつ機会を作ることで山林所有者だけでなく地域の手で維持管理をするという意識の向上を養い、持続可能な里山整備の仕組みを作りあげます。

#### 1 美濃加茂市内の里山林整備

今まで山林所有者が個々で管理していた山林を面として管理するために、地域住民等の意向を踏まえ整備計画をたてます。

地域住民や山林の所有者等と調整しながら整備区域を決定し、計画において想定される活用方法を前提に、区域内の里山の状態やその他の施策を考慮して整備内容を考えます。併せて整備後の維持管理への協力を依頼します。

また、山林所有者には個別に整備内容の説明をし協力を依頼すると共に、山林にある樹木等の活用を進めること、多くの人々が自由に出入りできるよう、開かれた里山とすること等、里山の利用に関する協定の締結を行います。

#### 2 持続可能な里山のための人材育成


整備が行われた里山林を、放置され再び荒れた山に戻さないため、整備後も定期的な維持管理が必要となります。森林整備を進めることで維持管理の範囲が広がり、その作業は膨大なものとなります。行政や山林所有者だけでその役割を担うことは不可能で、地域住民の協力が必要です。

そのため、地域住民を含む市内外の人たちの中から、里山の整備に関心のある人を対象に里山整備体験講座を開講し、里山整備のノウハウを体験してもらいます。里山での作業は一人ではできないことも多いため、講座を通して知り合った人同士が整備をすることで、山林所有者だけでなく地域住民や里山整備ボランティア団体が協働して里山を維持管理する仕組み作りに取り組みます。

◇里山整備◇

事業名	<b>里山整備計画及び維持管理事業（全体計画）</b>										
実施場所	美濃加茂市 平成記念公園北部未利用地～健康の森・覚埜地区										
事業主体	美濃加茂市、可茂森林組合、山林所有者、地域住民、森林文化アカデミー、専門家 等										
事業目的	田畑地区において「美しい里山再生モデル地区」を実現するため、地域住民の意向等を踏まえ整備区域の決定後、地域住民や専門家と協議を行いながら、持続可能な里山整備の仕組みを作ります。										
事業内容	①里山整備計画 ・整備箇所選定、現地確認、整備箇所決定 ・地元説明会開催 ・山林所有者、地元まちづくり協議会との協議 ・協定書締結 （維持管理、資源提供等記載した協定書）										
森林整備	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	
備考	森林整備の流れ 										

◇里山整備◇

事業名	<b>里山整備計画及び維持管理事業（重点地域）</b>									
実施場所	美濃加茂市山之上町田畑地内 平成記念公園北部未利用地～健康の森 美里山景勝地区									
事業主体	美濃加茂市、可茂森林組合、山林所有者、地域住民、森林文化アカデミー、専門家 等									
事業目的	田畑地区において「美しい里山再生モデル地区」を実現するため、地域住民の意向等を踏まえ整備区域の決定後、地域住民や専門家と協議を行いながら、持続可能な里山整備の仕組みを作ります。									
事業内容	<p>●里山整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林・環境税による森林整備（1年目）</li> <li>・定住自立圏事業による森林整備（竹チップ化等）（2年目）</li> <li>・里山林整備ボランティア団体・山林所有者・地域住民による維持管理（3年目以降）</li> </ul> <p>① 北部未利用地～基幹農道（別紙「整備計画位置図」参照） 整備面積 40.2ha</p> <p>② 基幹農道～健康の森（別紙「整備計画位置図」参照） 整備面積 53.4ha</p> 									
スケジュール	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
	① →					② →				
備考										



◇里山整備◇

事業名	里山林整備講座及び里山整備ボランティア団体による維持管理事業									
実施場所	美濃加茂市									
事業主体	美濃加茂市、可茂森林組合、山林所有者、地域住民、専門家 等									
事業目的	山林所有者だけでなく、地域住民、里山整備ボランティア団体、森林組合、学校、企業及び行政が協働して整備することにより、自分たちの手で里山を作り上げ、地域の手で再生するという意識の向上が生まれることとなります。持続可能な里山整備の仕組み作りが必要となります。									
事業内容	<p>①里山林整備ボランティア育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備ボランティア養成講座</li> <li>・整備ボランティア活動フィールド検討、提供</li> <li>・整備ボランティア団体による里山維持管理</li> </ul>									
スケジュール	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
	<p>①</p> <p>整備ボランティア養成講座</p> <p>整備ボランティア活動フィールド提供</p> <p>整備ボランティア団体による維持管理</p>									
備考										



整備計画位置図



### 四季を五感で感じる里山

これまで薄暗く立ち入る事さえ難しかった山林は、里山林整備することで、明るく気軽に散策できる環境にまで回復します。

その環境を維持管理することで、里山に多くの人が訪れ気軽にウォーキングなどを楽しむことのできるコースを設置します。



#### 1 『みのかも自然歩道』



「みのかも健康の森」を起点とする「遊歩道」を作り、美濃加茂市内の里山林を歩いて巡ることができる『みのかも自然歩道』を作ります。

里山林整備をする中で、使われていない歩道の整備や、環境整備を行ったコースをウォーキングマップにすることにより、いつでも気軽に年間を通して色づく里山を楽しめるようにします。

#### 2 『日本昭和村』と『北部未利用地』を繋いだ新たな観光資源

美濃加茂市の観光地である日本昭和村を訪れた観光客にも里山を体験してもらえるように昭和村と北部未利用地(里山)を繋ぐことにより「昭和村から里山」「里山から昭和村」と観光客の導線が確保できることとなります。

古き良き昭和・懐かしい昭和を思う存分、楽しんでいただける新たな観光資源として都市圏からの訪問客を呼び込むことができるよう、関係機関と調整を行います。

また、里山内の樹木には名札をたて散策しながら学習ができるようにします。




◇森のさんぽ道◇

事業名	『みのかも自然歩道』の第一歩 遊歩道整備				
実施場所	「みのかも健康の森」を起点とした遊歩道整備 ○山之上富士～三和町 ○山之上富士～平成記念公園未利用地 ○平成記念公園未利用地内				
事業主体	美濃加茂市、可茂森林組合、国際たくみアカデミー、山林所有者、地域住民 等				
事業目的	・里山林を整備することで、これまで使われていなかった昔からの歩道の環境整備や作業道を有効活用し遊歩道を整備する。将来的には、奥山自然歩道など美濃加茂の里山すべてがつながる遊歩道コースを設置し、人々が気軽に散策できる『みのかも自然歩道』を作ります。 また、「みのかも健康の森」を起点とする道を整備することで、健康の森の集客にもつながる。 ・新たな観光資源として「日本昭和村」を「里山玄関口」とし未利用地内にウォーキングなどができるコースを整備します。				
事業内容	①遊歩道整備準備 ・遊歩道予定ルート現地確認（コース確認、測量） ・森林環境税等申請業務 ・山林所有者確認、事業説明会 ・まちづくり協議会協議 ②遊歩道整備工事 ・事業説明会 ・山林所有者個別説明、協定（契約）依頼 ・整備工事実施 ③遊歩道維持管理 ・遊歩道施設等設置協議 ・維持管理実施（整備体験講座開催 等）				
スケジュール	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
	① ルート確認・説明会 まち協 協議 ② ③				
備考					



◇森のさんぽ道◇

事業名	『みのかも自然歩道網台帳』作成業務				
実施場所	美濃加茂市内				
事業主体	美濃加茂市、可茂森林組合、山林所有者、地域住民 等				
事業目的	<p>・整備済の遊歩道や既存の林道台帳を参考に測量等を行い、新規ルート等を台帳にすることで、みのかも健康の森を起点とした「みのかも自然遊歩道」を計画的に整備が可能となります。</p> <p>また、将来的にはこの台帳を活用して日常的にウォーキングができる環境を推進するためのMAPを作成し、遊歩道の起点となる「みのかも健康の森」にMAPを設置して訪問客へ周知し、利用増加を図ります。また、訪問客の増加にもつながります。</p>				
事業内容	<p>① 『みのかも自然遊歩道網台帳』作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ルート調査（既存林道調査、台帳作成）</li> <li>・可茂森林組合協議</li> <li>・山林所有者、地元まちづくり協議会との協議</li> <li>・整備した遊歩道を台帳に整理</li> </ul> <p>② 「みのかも健康の森」を起点にしたみのかも自然歩道MAPを作成。</p>				
スケジュール	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
	<p>①</p> <p>新規ルート調査</p> <p>山林所有者・まち協との協議</p> <p>遊歩道台帳整備</p> <p>②</p>				
備考					



### 里山産資源の有効活用

里山の価値をもう一度見直し、山や森林を資源の供給源としての価値ある財産と考え、その活用について検討していきます。

自然と共に歩む生活が営まれてきた里山。以前の里山とは、生活様式が変わり電気のない生活は考えられない時代となりました。そうした様式は変化しても、自然と共に生きていることを実感できる空間、自然からの恩恵を改めて考えることができる空間を創造することで「地山地消」の持続が可能な里山の姿を目指します。



#### 1 『美濃加茂市産材』の制作

美濃加茂市には広葉樹がとても多く、里山林整備で発生する樹木を「美濃加茂市産材」として利活用する方法を考えます。その樹木を利用した木製品を開発し将来的には「美濃加茂市産材」を生産・保全ができる里山にします。

そのため、森林文化アカデミーをはじめとする専門学校（高校）と提携し、整備後の美濃加茂市内の里山を資源研究の場として提供することで、実用可能な資源活用を研究するとともに、資源活用に協力してくれる企業と連携し、商品化をめざします。

#### 2 『里山ビジネス』の確立

以前の里山は、人が生活するために必要な資源を維持するために整備し、その里山からの供給物で自給自足、あるいは商売をなりたたせて生活を営んでいました。そして、子や孫に残していけるよう常に人が手をかけて育て、継続的に整備し続けるための基盤となっていました。

そうした昔の生活の中で生かされてきた技術や知恵の中から生み出されるものが、現在の社会の中でビジネスとして成り立つかどうか、成り立たせるためには何が必要なのか、そして新たに資源となりうるものを『里山ビジネス研究会』で探り、将来に渡っての森林整備の資力として生かせるよう研究を重ねていきます。

具体的なビジネスを提案することで、里山が資源の生産の場となり、持続可能な美しい里山が復活すると考えます。

◇里山資源◇

事業名	「美濃加茂市産資源」として「アベマキ」「竹」を活用します。																																								
実施場所	平成記念公園未利用地内、山之上町、蜂屋町の里山整備地内																																								
事業主体	美濃加茂市、岐阜県、可茂森林組合、森林文化アカデミー、山林所有者、学校、自然史研究会、地域住民、企業 等																																								
事業目的	<p>美濃加茂市の里山には広葉樹が多くあり、その中でも「アベマキ」の自生がとても多く、その「アベマキ」を利用した木製品を作りあげることによって「美濃加茂市産材」として広くPRします。</p> <p>第1弾として、森林文化アカデミーと提携し「アベマキ」を利用した「学校机プロジェクト」を実施します。</p> <p>また、伐採した竹を破砕し堆肥等に利用できるように研究します。</p>																																								
事業内容	<p>①「アベマキ」活用「学校机プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林文化アカデミー授業活用（製品研究） 研究課題（姫Biz 関連事業）</li> <li>・企業訪問、企業林誘致</li> <li>・アベマキ保全活動（植林、企業林誘致）</li> <li>・樹皮コルクボード活用</li> <li>・山林所有者提供依頼</li> </ul> <p>②「竹」活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹チップ堆肥、竹チップボードの研究</li> <li>・試験的活用（公共施設、授業活用、近隣の畑、果樹園地の協力依頼）</li> </ul> <p>③植生及び資源量調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植生調査の委託契約</li> <li>・資源量調査、保護及び管理</li> </ul>																																								
スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 7</th> <th>H 2 8</th> <th>H 2 9</th> <th>H 3 0</th> <th>H 3 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td colspan="5"> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5"> </td> </tr> <tr> <td>②</td> <td colspan="5"> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5"> </td> </tr> <tr> <td>③</td> <td colspan="5"> </td> </tr> </tbody> </table>						H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	①												②												③					
		H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1																																			
①																																									
②																																									
③																																									
備考																																									



◇里山資源◇

事業名	「里山ビジネス研究会」				
実施場所					
事業主体	美濃加茂市、可茂森林組合、企業 等				
事業目的	<p>「アベマキ」を利用した薪の販売、新たな活用方法である「学校机」「コルクボード」の制作可能な企業訪問や販売方法の確立、資源量の調査等の研究、実践を行う「里山ビジネス研究会」を設立し、将来に渡っての森林整備の資力として生かせるよう研究を重ねていきます。</p> <p>また、里山の産物から生みだされるものは山の幸であると考え、活用する方法を検討します。</p> <p>しかし、昔のようなエネルギー源をただ推奨するだけではなく、現在のライフスタイルに合わせながら、里山全体を一つの資源として活用方法を考え、取り入れながらビジネス化を図っていきます。</p>				
事業内容	<p>①「アベマキ」「竹」活用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植生調査委託業務</li> <li>資源量調査委託業務</li> <li>・企業訪問、企業林誘致</li> <li>・アベマキ保全活動</li> </ul> <p>②里山資源活用ビジネスの実現可能性検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用資源と商品化の研究委託業務</li> <li>・ビジネスモデルの策定委託業務</li> <li>・事業実施主体の検討</li> </ul>				
スケジュール	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
	<p>①</p>				
備考					

## こども達の笑顔があふれる里山

美濃加茂市は、古くから交通の要衝として知られています。その交通の利便性を活かし、市内のこども達だけでなく、名古屋など都会のこども達もターゲットとして活気ある里山を作ります。

「森のようちえん」「自然体験学習」など里山での様々な体験を通して、自然を愛しみ、大切にすることを育ち、この自然をいつまでも大切に守ってくれるような大人に育っていくよう、体験を通じたこども達の教育の場を提供します。



### 1 『森のようちえん』

整備した里山で「森のようちえん」を開園し、自然体験を重視した保育を行う場をつくります。

「森のようちえん」では、従来の保育園・幼稚園で行われている設定保育とは異なり、時間や空間を制限せず、こども達の思いを尊重して、自然の中でこども主体の保育を展開していきます。



### 2 校外学習の場と自然ワークショップ

整備された里山を、保育園や小学校等の校外学習の場として役立てていきます。貴重な植物や昆虫について学ぶことで、それらを守っていくためにも大切な里山を存続していく必要があることも学んでいきます。

また、地域の方々や地元の方々を先生として迎え、自然の中ならではのワークショップを行います。樹木の伐採などの林業、しいたけ作りなどの農業、昔の遊び、星空観察や昆虫採集など里山の中で体験します。消えつつある昔の技術や知識を体験しながら学ぶ機会を作ること、美しい里山風景を残してほしい」という願いと共に次の世代へと伝えていきます。



◇こども◇

事業名	<b>森のようちえん</b>				
実施場所	平成記念公園未利用地内				
事業主体	美濃加茂市、岐阜県、可茂森林組合				
事業目的	<p>平成記念公園未利用地内で「森のようちえん」を開催し、自然体験を重視した保育を行います。</p> <p>遊具など作られたものがない里山内で子ども達が自分たちで考えながら遊びをつくりだす「森のようちえん」では、子ども達の思考力や創造力が育まれ、また自然の中で過ごすことによって自然を大切にすることを学ぶ場にもなります。</p>				
事業内容	<p>①イベント型「森のようちえん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとに開催（年4回開催 毎回参加者募集）</li> <li>・通年開催（年6回開催 通年参加者募集）</li> </ul> <p>②市内保育園利用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山之上保育園園庭利用</li> <li>・市内保育園利用</li> </ul> <p>北部保育園：月1回利用呼びかけ          その他保育園：年1回利用呼びかけ</p>				
スケジュール	H27	H28	H29	H30	H31
	<p>①</p> <p>年4回開催</p> <p>通年開催</p> <p>②</p> <p>山之上保育園園庭利用</p> <p>北部保育園利用推進</p> <p>その他保育園利用推進</p>				
備考					





◇こども◇

事業名	<b>校外学習の場、自然ワークショップ</b>				
実施場所	平成記念公園未利用地内				
事業主体	美濃加茂市、岐阜県、学校、可茂森林組合、自然史研究会、				
事業目的	<p>整備された里山を小中学校等の校外学習の場として利用していきます。里山内で貴重な植物や昆虫などについて学ぶことや、樹木の伐採や植林、しいたけ作り等、体験しながら学ぶことで、昔の技術や知識を次の世代に伝えていける場にします。</p> <p>また、里山での生活体験をまとめる機会を設け、現在失われつつある里山の生活を次の世代に繋げる場としても活用します。</p>				
事業内容	<p>①校外学習の場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校の校外学習の場</li> <li>・乳幼児学級、地域サークル等イベント利用</li> <li>・社会見学、遠足利用</li> </ul> <p>②自然ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木の伐採体験、植林体験開催</li> <li>・自然観察会の実施</li> <li>・里山での生活体験「聞き書き」の実施</li> </ul>				
スケジュール	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
	<p>① イベント利用働きかけ</p> <p>小中学校校外学習利用</p> <p>社会見学・遠足利用促進</p> <p>② 自然観察会</p> <p>聞き書き体験</p> <p>樹木の伐採体験・植林体験</p>				
備考					



### やぎさんのいる里山

現在、美濃加茂市では、やぎの力を借り、循環型の除草を行っています。この取り組みでは、除草等の処理費用や、焼却過程で発生する二酸化炭素の排出も削減するだけでなく、その姿が癒される風景となっています。

そんなやぎがいる里山の風景を大切にし、やぎとのふれあいを通して、地域間、世代間の交流を深めていきます。



#### やぎとのふれあいと『やぎ学』

里山では、提携した大学の生徒や企業などの協力を得た「やぎの植生調査研究」に基づく草刈りでのやぎ活用の検討や、「やぎとのふれあい」イベント等を通して「どうしてあんなにたくさんの草を食べることができるのか」「やぎの目ってどんなふうになっているのだろうか」など、やぎについて学ぶ場を作ります。

里山でのんびりと過ごすやぎや、やぎと楽しそうに遊ぶ子ども達の様子は眺めているだけで癒されます。最近ではあまり見られなくなったやぎを見るために、美濃加茂市内だけでなく、都市圏からの訪問客にも里山に足を運んでもらえる場にします。

将来的には、里山でのやぎの活用として、やぎに関する製品を、特産品として美濃加茂市内の施設で販売することができれば、新たな観光資源となり訪問客も増加し、新たな雇用も生まれます。

このような、「草刈りやぎさん」「やぎのふれあい(癒し)」「やぎの生態系の学び」「やぎの製品」等、やぎを身近に感じることができることを総称した『美濃加茂発のやぎ学』を里山から発信していきます。



◇やぎさん◇

事業名	「やぎ学」の実施									
実施場所	平成記念公園未利用地内									
事業主体	美濃加茂市、岐阜県、岐阜大学、企業、学校、可茂森林組合									
事業目的	<p>・大学、企業との連携の強化を行い地域住民との協働事業として、定期的なやぎとのふれあいイベント（「やぎ学」）を行うことを通して、やぎについて学ぶ場とします。</p> <p>やぎとのふれあいは、子ども達のイベントだけでなく、高齢者施設の見学などの受け入れを行い、昔やぎを飼っていた頃の懐かしい生活の思い出を語り合ったり、誰かに話したりすることで癒され、昔を懐かしんでもらえるような場にもします。</p> <p>また、里山整備で伐採した竹を利用して、冬場のやぎの餌にする研究など循環できるシステム作りを考えます。</p> <p>・現在、企業や美濃加茂市が行っている「草刈りやぎさん」の認知度を上げるため広くPRするため、美濃加茂市の施設での活動を広く利活用します。</p>									
事業内容	<p>①「やぎ学」の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やぎとのふれあいイベントの開催</li> <li>・伐採後の竹を活用したやぎの餌の研究委託、活用実験</li> </ul> <p>②草刈の活用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設利用検討、実施</li> <li>・活動状況HP更新</li> </ul>									
スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">H27</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">H28</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">H29</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">H30</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">H31</td> </tr> </table>					H27	H28	H29	H30	H31
	H27	H28	H29	H30	H31					
<p>①</p> <p>ふれあいイベント実施</p> <p>やぎ餌研究委託</p> <p>やぎ餌活用実験</p> <p>②</p> <p>公共施設利用検討</p> <p>公共施設活用</p> <p>HP更新</p>										
備考										



### 実りある里山風景の発信

美濃加茂市には、山之上の梨や堂上蜂屋柿など、全国に誇れるフルーツがあります。

そのフルーツを広くPRするため、里山のくだものを使ったスイーツを新たな特産品にすることや、里山整備で伐採した竹のチップを堆肥として利用することで「地元の里山を整備して作った竹の肥料」を活用した「里山のくだもの」として新たな視点で発信します。

また、「堂上蜂屋柿の里」を作ることで、美濃加茂市の特産品を広くPRします。



#### 1 「里山のくだもの」の新たなPR

山之上の梨などから作るスイーツを研究・制作し、新たな「里山のくだもの」の魅力を伝えます。

また、里山整備で伐採した竹のチップの堆肥を、森林文化アカデミーと調査・研究を行い、モデル的として協力していただける山之上の果樹園地に撒き、梨等のフルーツをモデル的に栽培し「里山堆肥を活用したフルーツ」としてPRすることで、循環できるシステム作りを推進します。

将来的には、山之上一円の果樹園地に竹チップの堆肥を利用し、広く発信できるようにします。

#### 2 「蜂屋柿の里」



昭和村北部地域一面を柿畑にし、「堂上蜂屋柿の里」を作ります。

美濃加茂市は冬でも晴天の日が多く、奥美濃で雪を降らせた乾風が吹き下ろすため、秋に収穫した柿を干しあげるには最適の気候です。

堂上蜂屋という品種の柿を伝統の技によって干柿に加工し、その技と味は千年も昔から現在まで受け継がれています。そして、これから千年先にまで変わらず受け継がれていくように、堂上蜂屋柿を守りぬく場所を昭和村北部につくります。

◇里山のくだもの◇

事業名	「里山のくだもの」PR				
実施場所	山之上町、蜂屋町				
事業主体	美濃加茂市、山之上果実農業協同組合、森林文化アカデミー、学校、可茂森林組合、地域住民、蜂屋柿振興会、めぐみの農業協同組合				
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の果物を使ったスイーツを研究、制作することで、新たな「里山のくだもの」のPRを行います。</li> <li>・森林文化アカデミーとの調査・研究を行っている「竹チップ堆肥」を活用し、山之上果樹園地でモデル的に栽培し、「里山堆肥を活用したフルーツ」として広くPRをすることで、循環できるシステム作りを推進します。</li> </ul>				
事業内容	<p>①スイーツ研究、制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究ボランティア（学生含む）募集</li> <li>・スイーツ制作研究（レシピ、広め方（美濃加茂やきそば方式など）</li> </ul> <p>②「竹チップ堆肥」研究、モデル農園利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林文化アカデミーとの協力研究</li> <li>・モデル農園栽培、学校栽培依頼</li> </ul>				
スケジュール	H27	H28	H29	H30	H31
	<p>①</p> <p>研究ボランティア募集</p> <p>スイーツ研究、制作</p> <p>推進方法の検討</p>	<p>②</p> <p>竹チップ堆肥研究</p> <p>モデル農園・学校栽培</p>			
備考					



◇里山のくだもの◇

事業名	「堂上蜂屋柿の里」				
実施場所	日本昭和村				
事業主体	美濃加茂市、日本昭和村、可茂森林組合、地域住民、蜂屋柿振興会、めぐみの農業協同組合、岐阜県				
事業目的	<p>昭和村北部地域に、堂上蜂屋柿を植樹し「堂上蜂屋柿の里」にします。</p> <p>また、堂上蜂屋柿制作施設（PR館）を設置し、一般向けに堂上蜂屋柿制作全工程を見学できるように、堂上蜂屋柿制作施設を設置できるよう、関係機関との調整を図ります。施設には、制作体験の場も作り、堂上蜂屋柿を身近に感じてもらえる場を作り観光の場にします。</p> <p>また、身近にいながら知る機会の少なかった地域住民向けに気軽に立ち寄れ、体験できる場所を里山につくります。</p>				
事業内容	<p>①堂上蜂屋柿の植樹</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和村北部地域への植樹（イベントでの植樹）</li> <li>・維持管理に関する協議（委託先等）</li> </ul> <p>②堂上蜂屋柿制作施設（PR館）の設置検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県、日本昭和村との設置許可協議</li> <li>・JA、蜂屋柿振興会との事業内容協議</li> </ul>				
スケジュール	H27	H28	H29	H30	H31
	<p>① 堂上蜂屋柿植樹</p> <p>柿畑の維持管理</p> <p>岐阜県・昭和村協議</p> <p>JA・蜂屋柿振興会協議</p>				
備考					

## 里山体験活動拠点

### 里山を丸ごと楽しむ交流拠点



みのかも健康の森の施設をさまざまな事業展開の活動拠点として活用します。

この施設は活動の中心であると同時に、里山遊歩道の起点ともなります。ここに集うことで里山の魅力を体験する場として広く活用していきます。

また、将来的には里山のくらしが体験できる場を設置し、名古屋圏からの観光客を呼び込み、定住につなげていきます。

#### 1 里山体験の拠点となる施設

みのかも健康の森の施設を里山体験活動拠点として位置づけ、ここを遊歩道のウォーキングやハイキングコースの入り口として、または里山体験の場として活用します。

やぎの家は、活動の中心「拠点」であると同時に、普段の生活にはない里山のよさ「居心地」を提供する施設とします。やぎの家は里山暮らしのよさを感じて、美濃加茂市の里山に住みたいと感じてもらおうきっかけづくりをすることができます。



#### 2 里山を活かす施設

美濃加茂市内にある職業能力開発校「県立国際たくみアカデミー」の実習の力を借り、里山内を利活用する際に必要な施設（遊歩道沿いのベンチなど）を、里山林所有者の承諾を得ながら設置することで、里山利活用環境を整備します。

使用する木材は、美濃加茂市の里山の資源“美濃加茂市産材”を可能な限り使用できるよう働きかけていきます。



◇里山体験活動拠点◇

事業名	<b>薪ストーブの設置及び薪の普及啓発</b>				
実施場所	みのかも健康の森地内				
事業主体	美濃加茂市、可茂森林組合、まちづくり協議会、地域住民				
事業目的	<p>・里山資源となる「薪」の利用促進と普及啓発を行うため、里山の拠点施設となる健康の森に薪ストーブを設置します。</p> <p>設置後は、薪ストーブの利用や管理方法の周知、活用方法の実演を行うほか、薪割り体験を行う事で、里山資源の活用を促します。</p>				
事業内容	<p>①健康の森には薪（まき）を使った施設を設置します。</p> <p>昔から人びとの暮らしを支えてきた薪を使う施設のよさをあらためて認識してもらうために、設置から使い方を1年を通じて学ぶ場にします。</p> <p>②里山体験の場</p> <p>拠点となる健康の森において、さまざまな里山体験を行います。健康の森を起点とした遊歩道を整備することで、健康の森を美濃加茂市の里山ウォーキングコースの玄関口とし、訪れた人々の交流の場にします。</p> <p>また、近隣の里山整備で伐採した樹木を使って「薪割り体験」や「しいたけの原木づくり・菌うち体験」などさまざまな体験を行う拠点とします。都市圏からの訪問客を呼び込み、美濃加茂市の里山の良さを広く伝える場にします。</p>				
スケジュール					
					
	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
	<p>①</p> <p>薪ストーブ設置</p> <p>薪ストーブ活用講座</p>				
	<p>②</p> <p>職員薪割り・販売</p> <p>薪割り等体験講座</p>				
備考					

◇里山体験活動拠点◇

事業名	<b>市内及び近隣の専門学校（高校）との実習協定</b>				
実施場所	平成記念公園未利用地及びみのかも健康の森地内				
事業主体	美濃加茂市、可茂森林組合、国際たくみアカデミー、加茂農林高校、まちづくり協議会、地域住民				
事業目的	・市内や近隣の専門学校（高校）の実習の場に里山を利活用してもらうことで、里山の環境整備を行います。第1弾として、イベント等の利活用に必要なバイオトイレの設置を国際たくみアカデミーに協力いただき設置します。				
事業内容	①バイオトイレの設置 ・トイレ設置 ・管理方法検討、委託 ②実習の場提供 ・実習協定調整 ・実習				
スケジュール	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
	<p>① トイレ設置</p> <p>管理方法検討・委託</p> <p>② 実習協定調整</p> <p>実習開始</p>				
備考					

◇里山体験活動拠点◇

事業名	<b>「山の幸」活用事業</b>				
実施場所	健康の森地内				
事業主体	美濃加茂市、可茂森林組合、猟友会、関係団体、まちづくり協議会、地域住民、めぐみの農業協同組合				
事業目的	<p>里山から生まれた資源を「山の幸」として位置づけ、みのかも健康の森の施設を「山の幸料理」を提供する場ができるよう関係機関と連携を行います。</p> <p>将来的には、「山の幸」を美濃加茂市の特産品にできるよう、調査研究を行います。</p>				
事業内容	<p>①「山の幸料理」提供検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「山の幸料理」イベントの開催</li> <li>・猟友会、関係団体との協議</li> <li>・広域市町村との協議</li> </ul> <p>②「山の幸」特産品調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品調査研究委託</li> <li>・加工場の設置検討</li> </ul>				
スケジュール	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
		<p>①</p> <p>イベント開催</p> <p>関係機関協議</p>			
備考	<p>②</p> <p>調査研究委託</p> <p>加工場設置検討</p>				